あなたのならまちは、ナニイロですか？

やまといろ

ロフトと掘りごたつ

私が一番好きな場所は、改装中大工さんのひらめきでできちゃったロフトと掘りごたつ。初めて行った時、「ロフト行ってもいいですか？」と言えたのは『気軽に席を移動できる雰囲気』を目指すにこちゃん堂だからこそなんだろうな

象 × 米蔵で起きたmiracle ＝ 白藍色（しらあい）

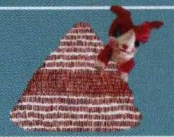
象のマークの秘密

明治18年に建てられた米蔵を改装した店内には名残がたくさん！この机も米蔵の扉。ここは多くのmiracleが繋がってできた場所。にこちゃん堂のマークだって改装中に天井裏で偶然発見！書ききれないたくさんのmiracle話聞いてみてね

藝育カフェ Sankaku

同じ方向をみて

「おもしろいことをやっている」「紹介したいものがある」…そんな人たちに場所を提供し、一緒になって１つの物をつくる場所、それがSankaku。作家さんの想いとSankakuの想いが通じた時に、素晴らしいアートが生み出される。



× アートに触れる ＝ 白群（びゃくぐん）色

スキな架け橋

Sankakuでは本当の意味での価値をアートに求めている。アートの展示を通して家族や同級生が集まるような、人と人が繋がるための架け橋になることが狙い。そして「アート・人・まち」が幸せな三角関係になることを目指している。

＊アート作品の展示は時期によって異なります。

笑顔が見たくて

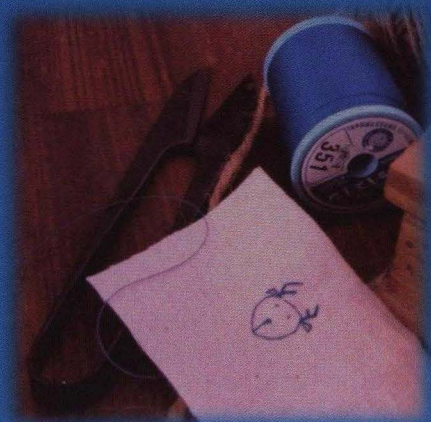
お店に並べられたすべての刺繍小物は、１人の女性によって作られたもの。「刺繍をしているときは、何を考えているの？」それは…“お客さんのよろこぶ笑顔！”刺繍にはあたたかさと一緒に強い想いが込められている。

hono-a × 気持ちを込めて ＝ 天（あま）色

人を繋ぐ

「hono-a」という名前。それはニュージーランドのマオリ語に由来しているそう。その意味は「繋ぐ」。友人や家族、大切な人にプレゼントすることで、人と人とを繋ぐきっかけになる無限の可能性を秘めているのが、hono-aの刺繍。

＊写真の転載・デザインの模倣はご遠慮ください。



みんなが、まあるく。

今から学校に行く学生や奈良に来た観光客の方、仕事を終えて一息つきたい会社員も…。みんな「こころまあるく」なってほしい。おいしい物を食べたら、純粋に嬉しいよね？楽しいよね？その素直なココロ・感情を形にして届けたい。

Cocomarl × まあるく ＝ 留紺色（とめこん）

みんなと、まあるく。

見て可愛い食べておいしい。そんなスコーンを感謝の気持ちと共に友達にプレゼント。恋人や家族と分け合うのもいいね！　スコーンを囲む「まあるい輪」が温かいひとときを生み出し、みんなの優しいココロを繋げますように。

お店の名前の由来は…？

傳次郎さんが商う砂糖屋さん、ということで『砂糖傳』と名付けられたこのお店は、江戸時代から続く砂糖のお店です。米飴や金平糖、バームクーヘンなど、その時代に合わせた「甘い幸せ」を私たちに届けてくれます。

傳 DEN × 昔から愛されてきたお店 ＝ 濃藍色（こいあい）

お砂糖にまつわるストーリー

お店の中には、長い歴史を感じるものがたくさん。商品はもちろんのこと、店内の看板や展示物にも注目してみてください。ひとつひとつに素敵なストーリーがあるので、お店の人にたずねてみてはいかがでしょうか。

寧楽菓子司　中西与三郎

和菓子をつくろう

「美味しい和菓子をもっと身近に、もっと気軽に」という店主の想いから、お店では定期的に和菓子作り体験を実施している。作った和菓子はお店でいただくことができる。予約制なのでご注意を。

寧楽菓子司 中西与三郎 × 人と奈良をつなぐ＝岩井茶色（いわいちゃ）

奈良から世界へ

和菓子の魅力は日本にとどまらない。和菓子や奈良の魅力を世界に広めようと、現在外国人向けの和菓子作り体験ツアーを考案中だそうだ。和菓子は奈良と世界中の人びとをつなぐ「架け橋スイーツ」になること間違いなし。

町屋かふぇ 環奈

抹茶チョコフォンデュ

古き良きものである“抹茶”に、若者でも楽しめる“フォンデュ”を組み合わせた新たな発想！見ているだけでわくわくする、環奈の和スイーツ。余った抹茶チョコにミルクを注ぐと…？？最後にとびっきりのお楽しみが待っています。

感・閲・観・賛 環奈 × まったりと和を感じる ＝ 御召茶色（おめしちゃ）

鯛だし茶漬け

ごはんも食べたいけど、デザートも食べたい！そんな願いを叶えてくれるのが「ちょっと豪華なお茶漬け」。最後の一滴まで飲み干したくなる抹茶風味のお出汁とおにぎりの中に入っている環奈オリジナルの鯛味噌がベストマッチ！

心樹庵

お茶の奥深さに驚き…

店内で味わうことができるお茶の種類はなんと200種類を超える。生産地、品種、製法はそれぞれ様々。迷ったときは日本茶インストラクチャーであるお店のご夫婦に相談すると、自分に合ったお茶をセレクトしてくれる。

× お茶へのあくなき探求 ＝ 千歳緑色（ちとせみどり）

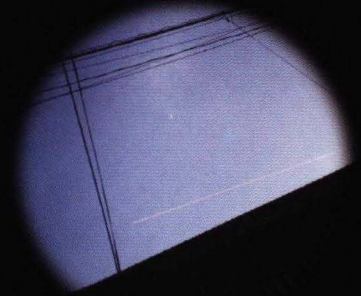
お茶と向き合う数十秒

お茶を注文すると、タイマーとお茶の淹れ方が書いたカードが添えられる。２煎目以降は自分で淹れるスタイルになっており、お茶がおいしくなるまでゆっくり待つ「和やかな数十秒間」をぜひ体験してほしい。

隠れている動物は？

にゃらまち

屋根が低いと空が広い



ならまちのぞきあな

風景　×　日常に転がっているもの　＝　あおいろ

今日も一日お疲れ様

怪しい路地が・・・

へんてこ坂道

空が映えるお洒落な建物

中は素敵な結婚式場

でも実は漬物屋さん

ならまちのぞきあな

あしびの郷
canata conata　×　人を笑顔にさせるもの　＝　あおいろ

可愛いキャンドルのお店

手作りの鹿キャンドル

幸せを呼ぶ青い鳥

お店一覧（掲載順）

・にこちゃん堂	http://nicochandou.net/top.html
・藝育カフェ Sankaku	奈良市下御門町28-1 2階
・hono-a	http://hono-a.jimdo.com/
・cocomarl	http://www.cocomarl.com/ ※　店舗の移動時期、場所についての詳細はHPをご確認ください。
・砂糖傳 増尾商店	0742-26-2307
・寧楽菓子司 中西与三郎	0742-22-3048
・町屋かふぇ 環奈	0742-25-2150
・心樹庵	http://ryuuoukutu302.wix.com/shinjuan ※　日曜日はお休みです。詳細はHPをご確認ください。

□ならまちのぞきあな

・あしびの郷	0742-26-6662
・canata conata	0742-24-8178

Special Thank you.

□大学生アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
・大阪産業大学、共栄大学、京都文教大学、埼玉大学
島根大学、鳴門教育大学、立命館大学、和歌山大学
以上の大学に通う、大学生のみなさん

□街頭アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
・アンケート実施にあたりご協力頂いた奈良市観光協会のみなさま
・鹿嫌いの克服とその付き添いで来ていた女の子２人組
・久しぶりのデートに奈良を選んだ遠距離カップル
・友達との楽しい飲み会を奈良で開催した女の子３人組
・ずっとにこにこしていてとても癒されたカップル
・学校終わりにご飯を食べに奈良に来た女の子２人組
・ならまちにランチを食べにきたお姉さん２人組
・同じ奈良の大学生ということで、共感できるお話をしてくれた女の子２人組

□シンポジウムアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
・元興寺のみなさま
・シンポジウム参加者のみなさま

□共同制作者のみなさま、ありがとうございました。
・平山豊さん、植木香さんをはじめとした、奈良信用金庫のみなさま
・日本総合研究所　山本大介さん
・奈良県立大学　伊藤忠通学長、岡本健先生
・NPO法人北海道冒険芸術出版　堀直人さん

決してわたしたちだけで作ったものではありません。
ここに書ききれないほどの、何百人という人たちの想いが詰まったこのガイドブック、
ぜひ大切に読んでいただきたいと思います。

「やまといろ」に携わってくださったみなさま、本当に本当にありがとうございました。

あとがき × あおいろ ＝ のべ まほろ

なんだこのガイドブック

▶ ひとつのお店を「ココロ」「モノ」「クウカン」という３つの部分から紹介
▶ 「ココロ」「モノ」「クウカン」を赤・青・黄に当てはめる

……つまり青色のガイドブックに「ココロ」が載っていれば、
残りの「モノ」と「クウカン」は赤色か黄色のガイドブックにあるはず。
……だから３種類のガイドブック全て揃えて読んでほしいな。

わたしの想い

このガイドブックを通して一番何を知ってほしいか。
それは「ココロ」「モノ」「クウカン」を作り出している「ヒト」。

怪しい学生が突然現れて、ガイドブックのお話をさせてもらったのに
快く受け入れて下さり、一緒にレイアウトや文章を考えたり
ああでもないこうでもないって何時間もかけて写真を撮ったり。

時には将来の夢の話や、最近の恋愛事情なんかもお話させてもらって。

言葉じゃ全然表せないけど、本当に温かい人たちに触れて
わたしは本当に本当にならまちが、いや、ならまちのヒトが大好きになりました。

おいしいものを食べてほしい。素敵な空間を見てほしい。
でもやっぱり、「ヒト」に会いに行ってほしい。

勉強も歴史も大っ嫌いだったわたしが、
奈良ってなんだかしょぼいと思っていたわたしが、これだけ楽しめるならまち。
わたしたちだって奈良を満喫できるし、わたしたちだって奈良を好きになれる。

だからまずは、ならまちへ。　　関わってくれた全ての方に大きなありがとう。

問い合わせ先：yamatoiro_gb@yahoo.co.jp　（ やまといろプロジェクト ）

Special Thank you.

□大学生アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
・大阪産業大学、共栄大学、京都文教大学、埼玉大学
島根大学、鳴門教育大学、立命館大学、和歌山大学
以上の大学に通う、大学生のみなさん

□街頭アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
・アンケート実施にあたりご協力頂いた奈良市観光協会のみなさま
・鹿嫌いの克服とその付き添いで来ていた女の子２人組
・久しぶりのデートに奈良を選んだ遠距離カップル
・友達との楽しい飲み会を奈良で開催した女の子３人組
・ずっとにこにこしていてとても癒されたカップル
・学校終わりにご飯を食べに奈良に来た女の子２人組
・ならまちにランチを食べにきたお姉さん２人組
・同じ奈良の大学生ということで、共感できるお話をしてくれた女の子２人組

□シンポジウムアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
・元興寺のみなさま
・シンポジウム参加者のみなさま

□共同制作者のみなさま、ありがとうございました。
・平山豊さん、植木香さんをはじめとした、奈良信用金庫のみなさま
・日本総合研究所　山本大介さん
・奈良県立大学　伊藤忠通学長、岡本健先生
・NPO法人北海道冒険芸術出版　堀直人さん

決してわたしたちだけで作ったものではありません。
ここに書ききれないほどの、何百人という人たちの想いが詰まったこのガイドブック、
ぜひ大切に読んでいただきたいと思います。

「やまといろ」に携わってくださったみなさま、本当に本当にありがとうございました。

あとがき × あおいろ ＝ のべ まほろ

なんだこのガイドブック

▶ ひとつのお店を「ココロ」「モノ」「クウカン」という３つの部分から紹介
▶ 「ココロ」「モノ」「クウカン」を赤・青・黄に当てはめる

……つまり青色のガイドブックに「ココロ」が載っていれば、
残りの「モノ」と「クウカン」は赤色か黄色のガイドブックにあるはず。
……だから３種類のガイドブック全て揃えて読んでほしいな。

わたしの想い

このガイドブックを通して一番何を知ってほしいか。
それは「ココロ」「モノ」「クウカン」を作り出している「ヒト」。

怪しい学生が突然現れて、ガイドブックのお話をさせてもらったのに
快く受け入れて下さり、一緒にレイアウトや文章を考えたり
ああでもないこうでもないって何時間もかけて写真を撮ったり。

時には将来の夢の話や、最近の恋愛事情なんかもお話させてもらって。

言葉じゃ全然表せないけど、本当に温かい人たちに触れて
わたしは本当に本当にならまちが、いや、ならまちのヒトが大好きになりました。

おいしいものを食べてほしい。素敵な空間を見てほしい。
でもやっぱり、「ヒト」に会いに行ってほしい。

勉強も歴史も大っ嫌いだったわたしが、
奈良ってなんだかしょぼいと思っていたわたしが、これだけ楽しめるならまち。
わたしたちだって奈良を満喫できるし、わたしたちだって奈良を好きになれる。

だからまずは、ならまちへ。　　関わってくれた全ての方に大きなありがとう。

問い合わせ先：yamatoiro_gb@yahoo.co.jp　（ やまといろプロジェクト ）